



2019年度 全国学力・学習状況調査の結果から

本年4月18日に3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査について、改めて、その結果等についてお知らせします。本校の強みや弱み、生徒の状況等を踏まえ、引き続き保護者・地域のみなさまのご支援をいただきながら教育実践の改善に取り組んでいきたいと考えています。

なお、来年度の調査は、現在の2年生を対象に令和2年4月16日（木）に国語、数学の2教科で実施される予定です。



1 全国学力・学習状況調査についての基本的な考え方について

学力調査は、教育施策の成果や課題を検証し、その改善を図ること、学校における教育指導の充実や改善等に役立てること等を目的として実施されるものです。一方、調査により測定できるのは、学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえるとともに、数値データを単純に比較することで、序列化や過度な競争が生じないように十分配慮することが重要であるとされています。

本校においても、公表された平均正答率等の数値は、あくまでも平均値であり、個々の生徒の状況を表すものではないことに留意し、毎日の授業の改善や、生徒一人一人の学校内外での学習状況の改善に役立てていきたいと考えています。

2 学力調査について

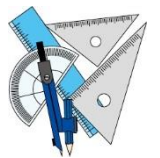
- ・ 全国・三重県・津市の平均正答率を、全ての教科で上回っています。
- ・ 設問ごとの平均正答率は、国語 10 問中 10 問、数学 16 問中 15 問、英語 21 問中 19 問で全国を上回っており、平均的に見て学習能力は高いといえます。
- ・ 答えを何も書かなかった無回答率（値が低いほうが望ましい）については、全問で全国平均を下回っており、最後まであきらめずに粘り強く取り組む姿勢がうかがえます。

＜各教科の平均正答率と南が丘中の状況＞

平均正答率	国語	数学	英語
南が丘中	全国・三重・津市を上回る		
津市(公立)	71	60	55
三重(公立)	71.7	60.3	56.0
全国(公立)	72.8	59.8	56.0

＜国語＞

- ・ 無回答率については、記述式の問題 2 問で、やや高くなっています。
- ・ 全ての問題で全国の平均正答率を上回っているものの、「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること」や「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを持つこと」「話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つこと」に課題が見られます。
- ・ 今後も、根拠を明確にして自分の考えを書いたり、意見を発表したり、意見交換したりする活動を大切にしていきたいと考えます。
- ・ また、封筒の宛名を正しく書くという問題では、他と比べ平均正答率が低く、日常の体験と結びついた学習を意識していく必要があります。



＜数学＞

- ・ 無回答率については、記述式の問題 4 問で、やや高くなっています。
- ・ 記述式の問題の平均正答率は、全国と比較し高いものの、さらに日常の授業の中で、事象や資料を的確に捉え、数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明したりする場面を設定していく必要があります。
- ・ 関数の問題（3 問）の平均正答率は、全国と比較し高いものの、さらに学年を追って系統的に指導していく必要があります。
- ・ 全国の平均正答率を下回った問題については、およそ 3 割の生徒が、当てはまるもの 2 つのうち一方のみを答えており、問題文を丁寧に読むことや、基本となる事項の徹底を図る必要があります。

＜英語＞

- ・ 無回答率については、記述式の問題 2 問で、高くなっています。
- ・ 「読むこと」、「書くこと」に係る問題の平均正答率は、全国を上回っていますが、「聞くこと」についての平均正答率は、「読むこと」、「書くこと」に比べ高いものの全国との差が小さくなっています。

- ・ 全国の平均正答率を下回った2問は、いずれも「聞くこと」についての問題で、特に会話を聞いて、その内容を適切に表している絵を選択する問題で、全国平均との差が大きくなっています。
- ・ 記述式の問題や「聞くこと」に関する問題に課題があることから、それぞれの学年において、資料を活用して自分の意見を書いたり、情報を正確に聞き取ったりする取り組みを一層進めていく必要があります。

3 生徒質問紙について

<9割以上の生徒が肯定的な回答をしているもの（一部抜粋）>

※ %は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合
 ※ (↑)は全国と+5ポイント以上の差が見られたもの

- ・ 毎日朝食を食べている。97% ・ 毎日同じくらいの時刻に起きている。94%
- ・ 先生は、間違えたところや理解していないところをわかるまで教えてくれる。93% (↑)
- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。96%
- ・ 学校の規則を守っている。98% ・ 人が困っているときは、進んで助けている。91% (↑)
- ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。96%
- ・ 人の役に立つ人間になりたいと思う。95%
- ・ 国語の勉強は大切だと思う。97% (↑) ・ 英語の勉強は大切だと思う。90%



<全国と+5ポイント以上の差が認められたもの（一部抜粋）>

※ %は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合

- ・ 毎日同じくらいの時刻に寝ている。86%
- ・ 家の人と学校での出来事について話をする。86% ・ 学校に行くのは楽しい。87%
- ・ 家で自分で計画を立てて勉強をしている。66% ・ 新聞を読んでいる。20%
- ・ 住んでいる地域の行事に参加している。66%
- ・ 1、2年の授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。81%
- ・ 国語の勉強は好き。74% ・ 数学の勉強は好き。66%

<全国と-5ポイント以上の差が認められたもの（一部抜粋）>

※ %は「当てはまる」と答えた生徒の割合

※ 【 】内の数値は、「どちらかといえば当てはまる」を加えた数値で、いずれも全国と5ポイント以上の差はなし

- ・ 自分にはよいところがあると思う。20%【73%】
- ・ 将来の夢や目標を持っている。37%【66%】



4 全国学力・学習状況調査の結果から見た本校の強み、弱みと今後の対応

<強み>

- ・ 学習に対する興味・関心、意欲が高く、多くの生徒が計画的に家庭学習を進めています。
- ・ 多くの生徒が、基本的な生活習慣を身につけ、前向きに学校生活を送っています。
- ・ 善悪に対する判断力や公正さ、人の役に立ちたいという意欲を持っており、こうした姿を実際の学校生活や社会の中で発揮してくれることを期待しています。

<弱み>

- ・ 「先生は自分のよいところを認めてくれていると思う。」31%【86%】に対し、「自分にはよいところがあると思う。」20%【73%】と答えた生徒が少なく、また、「将来の夢や目標を持っている。」37%【66%】と答えた生徒も全国に比べ少なくなっており、自尊感情や自己有用感の育成、将来を見据えた進路指導が課題となっています。



今回の調査結果を踏まえ、学校全体で次の取り組みに力を入れていきます。

1. より一層わかる授業をめざし、基礎、基本の徹底を図ります。
2. 主体的・対話的で深い学びをめざし、ペア学習やグループ学習等を活用し、お互いの考えを伝え合うことで、学習を深めたり広げたりする活動に取り組みます。
3. 将来の生き方につながる進路指導の充実を図ります。
4. 家庭の協力を得て、家庭学習の充実と「自己有用感」の育成をめざします。

授業の改善を進めていくことはもちろんですが、安定した家庭での生活や、家族との対話、家庭での計画的な学習習慣等が、本校の子どもたちを支える大きな強みと考えます。さらに、子どもたちが自信をもって生活できるよう、保護者の皆様と連携し取り組んでいきたいと考えています。引き続き、子どもたちの頑張りを認め、励ましながら、子どもたちの自尊感情、自己有用感を高める指導に取り組んでいきます。